

同じ漢字で意味が違う

# 日本語と中国語の落とし穴

用例で身につく日中同字異義語 100

## 推薦のことは

「日中両国人は同文同種だ」という言い方があります。しかし実際に中国人と交際してみると、両国人は「似て非なるもの」であると思知らされます。相互理解を深めるためには、「非なるもの」をしっかりと認識する必要があります。

本書は 100 に及ぶ日中の「同字異義語」の解説書であり、どの言葉の説明にも著者のビジネス体験が裏打ちされています。学習者だけでなく、中国ビジネスに従事している人々にとっても必読の一冊であると思います。

片寄 浩紀氏 (日本国際貿易促進協会相談役)

## 推薦のことは

本書は辞書ではありません。ビジネスマンとしての長く深いご経験に裏打ちされた生きた言葉の使い方を紡いだ物語と言って良いものです。実学の書として中国に関わる皆様のお手元においていただければと思います。

五十嵐 克也氏 (中国日本商会事務局長)

## 内容紹介

“同字異義語”を楽しく解説した人気コラムが書籍化！中国語学習者だけでなく一般の方にも。漢字への理解が深まり話題も豊富に。

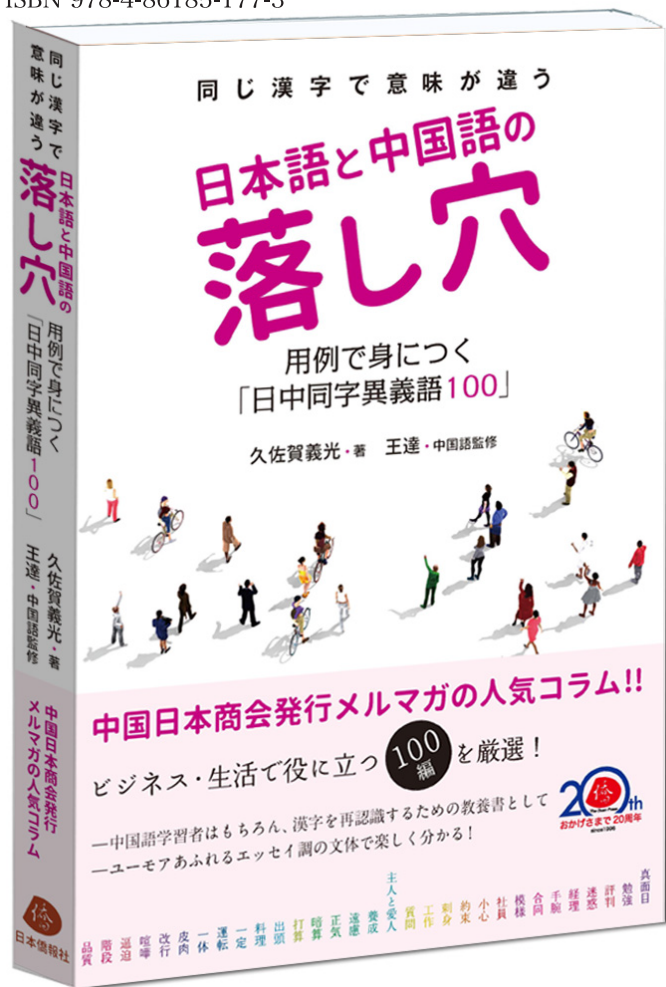
絶対に間違えてはいけない単語から話のネタまで——。日本と中国で同じ漢字なのに意味が違う“同字異義語”は中国語学習やビジネス交渉の際、日本人が陥りやすい落とし穴の一つ。本書に収録されるのは「請求」「迷惑」「刺身」「主人・愛人」「新聞」など、全 100 編。

読みやすいエッセイ調の文体で身近な漢字の意外な意味を知ることができ、日本語への理解をもっと深めたい方にもおすすめの一冊。

著者は三井物産の初代駐中国総代表、法律事務所顧問を歴任し、常に経済界の第一線で活躍してきた久佐賀義光氏。

久佐賀義光 著 王 達 監修


ISBN 978-4-86185-177-3



**【著者略歴】** 久佐賀 義光 (くさか よしみつ) 1932 年生まれ。東京外国語大学中国語科卒。三井物産株式会社初代駐中国総代表、LEC 東京リーガルマインド大学総合キャリア学部教授、高井伸夫法律事務所中国担当顧問を経て、現在は弁護士法人ブリッジルーツ顧問。国際社会貢献センター日本語講座講師。

**【監修者略歴】** 王 達 (ワンダー) 1968 年生まれ。吉林建築工程学院建築学部卒。長春市人民代表大会常務委員会に勤務後、2002 年日本へ留学。大阪府立大学大学院、生命環境工学研究科修士課程卒業。2012 年中国に帰国、北京建王グループを設立して董事長、GK 上海副董事長 (合弁会社)、北京林業大学客員教授、北京市屋上緑化協会副会長、建築士、ランドスケープデザイナー。

ご注文は、日本橋報社 e-shop (中国研究書店) をご利用いただくか、またはこのチラシを書店にご提示ください。(トーハン 日販 その他 取次コード: 5752)

	<b>ご注文</b> 住所、氏名、電話番号をご記入ください	<b>日本語と中国語の落とし穴</b> ISBN 978-4-86185-177-3 発行日: 2015 年 5 月 15 日 四六判 252 頁 並製 定価: 本体 1900 円 + 税	<b>番線印</b>
	注文部数 部	日本橋報社 e-shop <a href="http://duan.jp">http://duan.jp</a>	
送信 FAX <b>03-5956-2809</b>			